

MA-T が拓く地球の未来

MA-T 学会第 1 回年会 (2023)

～未来社会創造への期待～

日時：2023 年 11 月 18 日 (土) 10:00-18:10

場所：大阪大学大学院薬学研究科 4 号館

後援：大阪大学大学院薬学研究科、日本蛋白質科学会、日本 MA-T 工業会

参加費：MA-T 学会一般会員および学生会員 (無料)、非会員 (3,000 円)

(日本 MA-T 工業会会員企業様には参加優遇があります。工業会にお問い合わせください)

申込方法：MA-T 学会 HP (<https://www.matsociety.org/>) より申込フォーム

プログラム

開会の辞 (10:00-10:10)

土井 健史 (MA-T 学会会長、大阪大学名誉教授)

ご挨拶

金田 安史 (大阪大学理事・副学長)

基調講演 (10:10-10:50)

井上 豪 (大阪大学教授)

『OPERA での実績報告』

依頼講演 (10:50-12:20)

森本 祐麻 (名古屋大学准教授)

『オゾンガスを利用した不活性アルカンの酸化反応』

重光 孟 (大阪大学講師)

『イオン性有機色素の集積が生み出す光機能の開拓と応用』

森口 舞子 (和歌山県立医科大学助教)

『光酸化反応を用いたグラフェンへの機能性付与』

山本 敬太 (大阪大学大学院博士後期課程 1 年)

『光活性化二酸化塩素を用いた不均一表面機能化法の開発』

皆木 瞳 (岡山大学医学部)

『院内感染予防のための MA-T 含有口腔ケアジェルの社会実装』

野口 貴弘 (大阪大学 5 回生)

『革新的先端材料である要時生成型亜塩素酸イオン水溶液 (MA-T) のマウスを用いた安全性評価』

昼食休憩 (12:20-13:20) (ランチョンセミナー予定)

招待講演 (13:20-14:50)

西原 諒 (産業技術総合研究所 研究員)

『酸化反応に伴う発光現象の新展開』

松長 遼 (東京大学 助教)

『個性を活かしたタンパク質デザイン戦略』

河嶋 厚成 (大阪大学 講師・病棟医長)

『筋層非浸潤性膀胱癌に対する新たな治療薬開発を目指して』

休憩 (14:50-15:00)

記念講演 (15:00-15:15)

荻原 弘子 (杏の杜財団 理事長)

『私の MA-T との出会いそして、これから...』

特別講演 (15:15-15:50)

賀来 満夫 (東北医科薬科大学 特任教授、東北大学 名誉教授)

『MA-T が拓く 感染制御の新たな未来』

学会奨励賞受賞者講演 (15:50-16:10)

藤田 純三 (大阪大学 特任助教)

『二酸化塩素による光酸化反応を利用したクライオ電子顕微鏡用グラフェングリッドの開発』

パネルディスカッション (16:10-17:10)

『未来社会創造への期待』

星野 俊也 (国連システム監査官・大阪大学 名誉教授 (元国連日本政府代表部大使) 大阪大学大学院国際公共政策研究科 ESG-IREC 創設ディレクター)

朝野 和典 (大阪健康安全基盤研究所 理事長)

櫻井 克明 (アース製薬株式会社 執行役員)

井上 豪 (大阪大学大学院薬学研究科 教授)

大久保 敬 (大阪大学高等共創研究院 教授)

浅原 時泰 (大阪大学大学院薬学研究科 准教授)

ポスター発表 + 情報交換会 (17:10-18:00)

閉会挨拶 (18:00-18:10)

津本 浩平 (MA-T 学会副会長、東京大学 教授)